

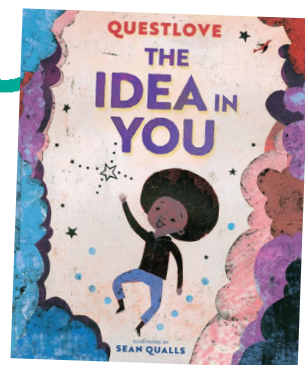


アイデアを思いっきり楽しむ 教師用ガイド

色でひろがるクリエイティブの世界



これは先生方のための準備用ガイドです。Crayola Creativity Weekの日替わりテーマ「アイデアを思いっきり楽しむ」に向けて作成されています。思考シート「アイデアで遊ぼう」と「アイデアを大切にしよう」の2つがついており、ダウンロードや印刷が可能です。思考シートは生徒に配ってもいいですし、生徒には何も書かれていない白紙の紙で作業してもらい、思考シートを教師用のガイドとして使っても構いません。どんな場合も、生徒がさまざまな画材を使って取り組めるようにしてください。



クエストラブは、自身が手がけた絵本『The Idea in You』の中で、自分のアイデアやひらめきを大切にし、自分の表現を見つけることを子供たちに勧めています。彼は、アイデアはそこら中に転がっていること、いろいろなアイデアを混ぜ合わせて、試して、周囲の人に渡すことで、アイデアをより輝かせることができるということを信じていて、絵本を通してこのことを伝えています。アイデアやひらめきを大切に、工夫しながらもっと磨き上げていくというCreativity Weekのメッセージは、皆さんの指導や学習の目標とどのように結びつきますか？

学習目標 - 生徒にできるようにしてほしいこと:

- アイデアがどこから生まれ、どんな工夫ができるのか、クエストラブのストーリーからインスピレーションを得る
- 自分だけのアイデアを生み出すには、何かを創り出したいという気持ちや遊び心を持つことが大切だと理解する
- 自分のアイデアやひらめきをいろいろな角度から考えたり、伸ばしたり、逆さにしたり、自由に広げてみたりして、どんな発見があるかや、他に誰がアイデアを受け止めてくれるかを探してみる
- 自分だけのアイデアを大切に、時には変えたり誰かと分かち合ったりしながら、その独自性を楽しむ
- 自分の創造力に自信をもち、未来に向けて新しいアイデアを生み出す自分を思い描く



「アイデアで遊ぼう」の思考シートを使って、何かを創り出したいという気持ちや遊び心を持つことでアイデアを新たな視点で見ることができるようになる、というメッセージについて、生徒に考えてもらいます。人が遊び心をもって取り組むとき、どんな特徴が表れるかを尋ねてみましょう。ルールがなく、競争もない自由な遊びが、アイデアをどんどん広げるということについて考えてもらいます。遊び心を発揮して心が解放され、アイデアがどんどん湧いてくるような瞬間はどんなときだったか、振り返ってもらいます。



生徒に、アイデアやひらめきを見つけ、工夫し、共有したときの自身の体験を、クラスメートの体験と結びつけて考えてもらいます。どこからひらめきを得て、自分だけのアイデアが生まれたのでしょうか？ 物語、動き、ダンス、音、音楽、アートなどは、新しい考えを生み出すためのどのようなきっかけになったでしょう？ 共同作業や信頼関係の構築といった行動や関係は、アイデアが次々と生まれるようになるためにどう役立つでしょう？ アイデアはよく「種」に例えられ、アイデアを目に見える形にすることは種まきや植物の育成に例えられますが、それはなぜでしょう？



生徒に、自分の考えを目に見える形にするよう、スケッチを描いてもらいます。アイデアで遊ぶとは、「...だったらどうだろう？」と考えながら、アイデアをいろいろな角度から考えたり、伸ばしたり、周囲と分かち合ったり、組み合わせたり、バラバラにして組み立て直したり、別のアイデアを再利用してみたりなど、あれこれ工夫してみることでと伝えます。正しいかどうかを気にする必要はありません。工夫を加えて進化したアイデアをスケッチしてもらいます。



生徒がスケッチを発表する際は、その絵ができあがるまでのプロセスを説明してもらいます。最初に浮かんだのはどんなアイデアだったか？ 遊び心をもって工夫を加えていく中で、そのアイデアはどう変化したか？ クラスメートのアイデアに対して遊び心のある提案をしたり、別の可能性を考えたりして、アイデアを混ぜ合わせ、変化させ、広げるよう促します。



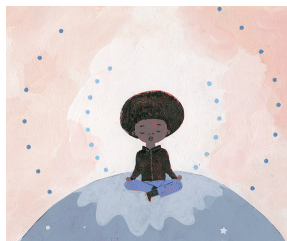


アイデアを思いっきり楽しむ 教師用ガイド

色でひろがるクリエイティブの世界



「アイデアを大切にしよう」の思考シートを使って、自分のアイデアを大切にすること、そして、自分らしさを大切にすることで、より新しく、より練り上げられたアイデアが生まれるというメッセージについて、生徒に**考えて**もらいます。アイデアを生み出すには、気が散るものを減らし、落ち着いて心地いい状態に身を置くことが大切です。



生徒に、楽な姿勢で立っていられる、あるいは座っていられる場所を見つけて体をリラックスさせ、目を閉じて、自分の心の中を見つめるよう促します。一本の木のように、地面にしっかりと根を張っている様子をイメージしてもらいます。または、日常の気が散ることから離れて、宇宙空間にふわふわと浮かんでいる自分を思い描くのもいいでしょう。チャンスや課題に意識を向けて、その状況を解決するアイデアが頭に浮かぶよう促します。



このとき、どうすれば浮かんだアイデアを大切にできるか、なぜ大切にすることが必要なのかを**考えてもらいましょう**。そして、アイデアに名前を付け、どうすれば一つひとつのアイデアをより確かなものにできるかを考えます。その後、浮かんだアイデアの中からいくつかを選び、そのアイデアを大切に**して**覚えておくために、具体的に描写してもらいます。



生徒にスケッチを**描いてもらいます**。自分がパーソナルスペースの中央でくつろぎながら、周りにいくつかのアイデアが浮かんでいる様子を描いたシーン・クオルズのイラストを参考にしてください。それぞれのアイデアをスケッチする際は、そのアイデアを大切にし、記憶にとどめ、周囲と分かち合えるように、イラストにアイデアの名前を入れるように伝えます。



アイデアを大切にするためには、そのアイデアを共有して、周りの人に育んでもらうことが重要です。生徒がイラストを**発表**する際は、描いたアイデアについて説明してもらいます。そして、クラスメートには、そのアイデアを称え、よりよくするような意見をあげてもらいましょう。全員の発表が終了したら、アイデアを生み出して大切にすることで、それが未来にどのようにつながるかを考えてもらいます。なぜ世界にはもっと独創的な考えが必要なのか？発明や革新の未来には、なぜ若い世代が重要なのか？こうした問いを投げかけてみます。



「アイデアを思いっきり楽しむ」のアクティビティが終了したら、**学習目標**について話し合います。学校や放課後、あるいは自宅で、自分でアイデアを見つけて楽しく発展させることができる可能性を考えてもらいます。特に新しいチャンスや課題を考えると、一つの正しい答えを探すよりも、たくさんの解決策やアイデアを試し、それを楽しむことのほうが役立つのはなぜでしょう？